

ぶどうの樹だより

vol.02
2019.2.1

NEWS LETTER

ぶどうの樹キリスト教会

「名前の由来」

わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。」

新約聖書 ヨハネの福音書 15章5節

この聖書のことばが「ぶどうの樹キリスト教会」の名前の由来です。イエス・キリストが「ぶどうの木」で、私たちは「ぶどうの枝」。枝は木を離れては実を結ぶことはできないので、ぶどうの木(イエス・キリスト)に繋がっていることの大切さを覚えておくため、この名前にしました。



日本福音キリスト教会連合
宗教学人「ぶどうの樹キリスト教会」

〒160-0008

東京都新宿区四谷三栄町6-26



皆さんは、「教会」を訪ねたことがあるでしょうか？

私たちの教会はキリスト教会のプロテスタントに属しています。

「教会にはなかなか『敷居』が高くて、行ったことはない」という方も多いでしょう。また、宗教というものに疑いを抱き、「教会には行かない」という方もいます。そのような皆さんに、イエス・キリストがどういう方であるか、少しでも知って頂きたい、お便りを出しています。



ぶどうの樹キリスト教会
牧師 三木 新

「私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。」

新約聖書 テモテへの手紙第二 2章13節

皆さんは、クリスチャンや教会にどのようなイメージをお持ちでしょうか。良い印象をお持ちの方もいてくださると思います。ですが、「教会なんて、結局偽善者の集まりでしょ」とか「教会なんていうところに行く人は、どこか弱い人が行く所」とか「教会は外国の宗教だから嫌い」とか、そういう思いを抱いている方がおられることも承知しています。また、「クリスチャンは、聖人君子のように見せかけて、悪いこともしているじゃないか」、「自分はクリスチャンのように、色々制約されて生きていくのは御免だ」とお思いの方もいます。

以前、当時トップアイドルグループの女の子が、そのグループの中で一位を獲得したとき、こんなメッセージをしました。「私のことは嫌いでも、『○○(アイドルグループ名)』のことは嫌いにならないでください」。大きな重圧の中から生まれる言葉は、とても重みのある言葉だと思います。彼女のメッセージをお借りし、私も皆さんにお伝えしたい事があります。

それは「クリスチャンのことが嫌いでも、イエス・キリストのことまで嫌いにならないでください」ということです。皆さんが、クリスチャンや教会に対し否定的な思いや感情を抱くことは致し方ない面があると思っています。皆さんからのご指摘は「いかにも、その通りです」という面があります。(もちろん、否定しなければならないところもあるかと思いますが)

ですが、冒頭の聖書のことば、「私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である」という言葉に耳を傾けて頂きたいのです。確かに、クリスチャンの中に「真実さがない」ということがあります。ですが、「キリストは常に真実なお方」です。

ある方たちは、ご自分の中にも「真実さ」がないことにお気づきだと思います。「自分も偉そうなことを言っているが、自分にも偽りがあり、善人ぶっているが、やましいことがある」。そのように、自らを内省し、自らの内に「真実」がないことに気付いている方もいます。

そのような方にも、「私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である」という言葉を知って頂きたいのです。

キリストは真実で正しい方でしたのに、十字架に架けられ処刑されました。本来は、キリストが私たちを裁き、処刑することがおできになるのに。

ある方たちには、このキリストの十字架は「愚か」に見え、「滑稽」に映るでしょう。でも、このキリストの十字架によって、キリストに付く者は無条件に天の国に許されて入ることができるのです。「私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である」ゆえに。このチラシを最後まで読んでくださった方。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。」と言われるイエス様からのメッセージをどうぞお受け取り下さい。